

地域医療総合支援センターよりお知らせ

日頃より、当院の地域医療連携にご協力を賜りまして誠にありがとうございます。

2020年7月1日より地域医療連携室は「地域医療総合支援センター」として稼働をはじめました。地域の先生方には、当院を便利にご利用いただけるように、患者さまのご紹介や検査・治療後の相互連携という点でさらに試行錯誤を重ねながら、よりよい地域医療を共に作っていきたいと思っております。今後とも、ご指導、ご鞭撻の程よろしくお願ひ申し上げます。

患者さまのご紹介について

紹介状(診療情報提供書)に、診療・検査ご希望日時・保険情報を記入の上、下記までFAXしてください。

医師の指定がある場合は、紹介状に記入ください。入院依頼の場合は、お部屋タイプもご記入ください。

1

診療情報提供書はホームページよりダウンロードいただけます。

当院のホームページのトップページより、

①【医療関係者の方へ】をクリック

②【紹介・診療・検査予約】をクリック

③ご利用手順の中にある右記のボタンをクリックし、PDFを印刷ください。

- [診療情報提供書](#)
- [糖尿病患者様専用診療情報提供書](#)
- [糖尿病教育入院診療情報提供書](#)
- [心不全高血圧教育入院診療情報提供書](#)

2

FAXにてお返事いたします。

入院依頼および病状等により多少お時間をいただく場合がございます。

3

患者さまへご来院日時に、紹介状(診療情報提供書)と保険証をご持参下さいようお伝えください。

地域医療総合支援センター

**TEL.078-681-6250
FAX.078-686-1802**

[月～金曜日] 9:00～17:30 [土曜日] 9:00～17:00 [日・祝日] 休み

編集後記

9月中旬となり、ようやく猛威を振るった BA5による第7波は終息にむかいい、またWHOも新型コロナウイルスのパンデミックの状況が「まだ到達していないが、終わりが視野に入ってきた」と述べています。現実的にはコロナと共存できる社会が見えてきたと解釈すべきで、まだまだコロナとの闘いは続きます。幸いBA5感染は重症化する患者様は少数でしたが、治療すべき疾患に合併する症例も多くみられます。特に今回特集させていただきました当院の整形外科治療は、比較的手術を急ぐ必要があり、新設いたしました救急総合科との連携でコロナ患者にスムーズに対応させていただいております。3年前に当院に赴任されました朝田院長は、整形外科疾患をオールマイティに受け入れ治療され、今では当院は神戸市きっとの整形外科病院となりました。365日24時間体制で救急を受け入れ、整形外科医師も常駐し対応できる体制で、引き続き近隣の開業医の先生からの紹介、神戸市の救急患者の受け入れに尽力を続けてまいります。今後とも当院をよろしくお願いいたします。



副院長
地域医療総合支援センター センター長

西岡 昭彦 [Akihiko Nishioka](#)

- 兵庫医科大学卒（昭和57年）
- 日本外科学会専門医
- 日本消化器外科学会認定医
- 日本消化器内視鏡学会専門医
- 日本内視鏡外科学会技術認定医
- 近畿外科学会評議委員
- 兵庫医科大学臨床教育教授
- 兵庫医科大学第二外科講座非常勤講師
- マンモグラフィー読影認定医

地域医療機関向け広報誌 ジェネラリンク **GENERALINK**

総合病院の総合(GENERAL)と、連携(LINK)を組み合わせた造語になります。私たち神戸百年記念病院は、「地域になくてはならない病院になる」という理念のもと、地域の医療を共に支えるために、相互連携していきたいと強い想いを込めて作成しました。

2022.10
05

整形外科特集

幅広い対応が求められる整形外科だからこそ
「オールマイティな医療」を提供する



医療法人社団 顕鐘会
神戸百年記念病院

〒652-0855 神戸市兵庫区御崎町1-9-1
<https://www.kobe-century-mh.or.jp>
TEL.078-681-6111(代表)



医療法人社団 顕鐘会
神戸百年記念病院



幅広い対応が求められる 整形外科だからこそ 「オールマイティな医療」を提供する

ごあいさつ～地域医療連携広報誌「GENERALLINK」～



理事長
田中岳史

日頃より当院の活動にご協力、ご支援賜り、誠にありがとうございます。

ここに「GENARALINK 第5号」をお届けいたします。今回は、朝田院長率いる「整形外科」の特集号です。当院の整形外科は外傷、変性疾患、腫瘍など、ほぼ全整形外科領域に対応し、神戸市内のみならず広く県外、関東から多くの患者さんにご来院いただいております。朝田院長の「オールマイティな医療を提供する」という熱い信念のもと、現在では県内トップクラス、全国有数の手術症例数を誇るに至りました。また入院診療においては病院総合医との協業が当院整形外科の特徴です。総合診療科医師が病院総合医として整形外科病棟に常駐し、多くの患者さんが抱える内科的疾患などの併存疾患の管理を同時並行して行い、安全でスムーズな療養を支えています。加えて急性期を過ぎた post acute の患者さん、特にご高齢の患者さんについては地域包括ケア病棟がバックアップし、心身のリハビリを通して住み慣れた地域で自分らしい生活を取り戻せるよう支援しています。こうして患者さんにも安心していただける、そして大切な患者さんを紹介していただいた先生方にも満足していただける医療体制を構築しております。

本誌が、先生方との懸け橋になりますよう心より祈念しております。私共、神戸百年記念病院は先生方に支えられ、地域に根ざす病院として、これからも成長を続けてまいります。ご意見、ご要望などございましたら、何なりと地域医療総合支援センターにお申し付けいただければ幸いでございます。今後共、どうぞ宜しくご指導、ご鞭撻の程お願い申し上げます。

Doctor Interview

院長 朝田 尚宏

神戸百年記念病院の整形外科を担当している 朝田 尚宏 です。私は3年前に当院の院長として赴任して以来、「オールマイティな医療を提供すること」をモットーとして走り続けてきました。現在も一整形外科医として、診断のための診察・治療のための手術を行っています。当院は二次救急指定病院であり、24時間365日、救急搬送される患者さんの受入を行っていますが、ここ数年でその様子もだいぶ様変わりしてきたと感じています。

現在の救急医療体制

現在、当院では、地域の患者さんのニーズに対応すべく、救急症例も含めた多くの症例を受入れています。

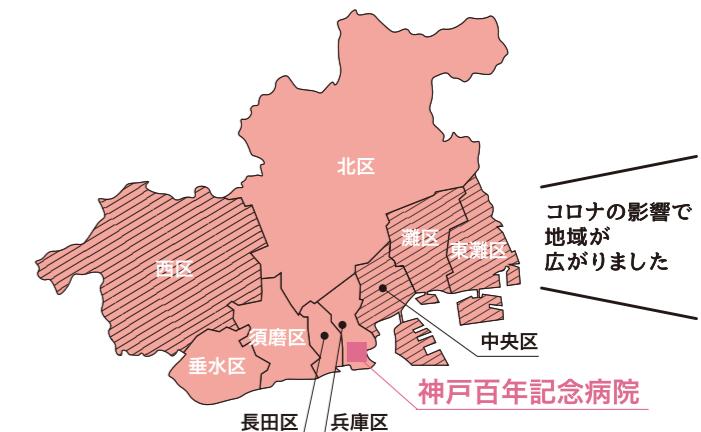
救急に関して、24時間365日内科・外科・整形外科の当直医を配置し、受け入れ体制を整えています。

私が当院に赴任した頃は、兵庫区と隣の長田区が、治療対象のエリアになるのかと予測していましたが、地域の医療を支えるため、多くの患者さんに対応したことや、救急隊の方たちに「搬送すれば受入してくれる病院である」と認識していただき、その対応が近隣エリアまで伝わっていくことで、須磨区、垂水区、北区からの救急搬送件数も増えていきました。この3年間の実感です。

救急患者地域

整形外科救急車搬送件数 (令和3年度)

964 件





インプラントの使用数は西日本で上位に

昨年（令和3年）の年間手術実績を振り返ると、整形外科全体では512件の手術を行っていました。このうち395件は、私自身が執刀医として関わった手術です。果たしてこの件数が多いのかどうか。医療材料メーカーの報告によると、令和3年1月～12月の1年間、人工股関節や大腿骨の髓内釘、創外固定の使用インプラントの使用数としてはいずれも西日本で上位、脊椎固定術においては令和1年5月～令和3年4月の2年間は神戸市で1位の実績とのことです。

年間約400件の手術を執刀

整形外科は、脊椎、股関節、膝関節、腫瘍、手の外科など、専門的な分野に分かれていく傾向があります。私自身も腫瘍の分野から専門性を磨くことをスタートしました。しかしその後、「幅広く診療できるスペシャリスト」を目指し、骨折、外傷、脊椎、股関節や膝関節など、多くの症例に対する手術に携わってきました。一般的には年間100～150件の症例で執刀すれば多いと言われる世界で、30代は200件強、現在は400件弱ですから、当院での「手術」が非常に多くなっていることをご理解いただけるのではないでしょうか。

診療体制と手術実績

患者さんから具体的に「この手術をして欲しい」ということは少ないですが、例えば侵襲の少ない関節鏡下手術によって早期回復が可能であること、関節リウマチに対して新しい薬剤（生物学的製剤やJAK阻害薬）を使用の選択肢があること、頸椎に対する前方・後方椎弓形成術、腰椎に対するOLIF、Reverse Shoulder人工肩関節が、当院の整形外科で対応できることも地域の先生方に知っていたければ幸いです。

特長的な治療技術

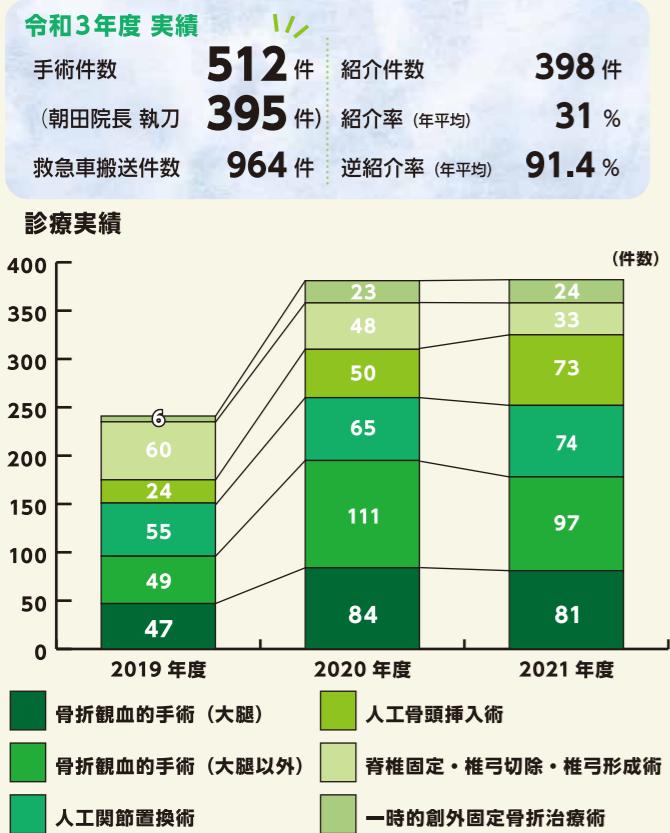
- 1 最小侵襲での人工関節置換手術として、深屈曲が可能なMIS-TKAやMIS-THAによる手術症例を施行しています。
- 2 症例に合わせた股関節アプローチ(PL、AL)を選択しています。
- 3 侵襲の少ない関節鏡視下手術(膝・肩)を施行しています。肩はARCRに対応しています。
- 4 関節リウマチに対する生物学的製剤やJAK阻害剤による集合的な治療を行っています。
- 5 頸椎は後方椎弓形成術、前方椎体間固定術に対応しています。腰椎はOLIFを用いた前方後方同時固定術を行っています。



「地域で高いレベルの医療が完結するように！オールマイティな医療を提供する」を目指す

近年、大学病院や大規模病院などでは、他科も含め診療科が専門分野に分かれる傾向にあります。整形外科であれば、脊椎・脊髄、肩関節、股関節、膝関節、腰、足、手、骨粗鬆症などです。これにより医師は自身の専門分野以外は診療をしない・できない状況になり、同じ整形外科を受診する場合でも、担当医が変わることも珍しくありません。医師不足の僻地に勤務した経験から赴任当初より、「地域で高いレベルの医療が完結するようにオールマイティな医療を提供する」ことを目指し、実行に移してまいりました。

令和4年より病棟総合医が共同で入院患者さんを診ることで病棟担当整形外科医、外来担当整形外科医及び執刀医、と複数の眼で患者さんに対応しており、手術経過、リハビリテーション、日常生活回復への方向性など、患者さんの状態を共通認識としてすることで、スタッフ一丸となってより質の高い医療提供に努めています。



★単独執刀医として (令和3年1月から12月まで)

整形外科 診療実績

股関節系 ★

- アクティスシステム* 116 件
西日本 1 位(全国2位)
※HAコーティングシステム
- ピナクルカップ 43 件
西日本 7 位
- BHA 76 件
西日本 4 位(全国6位)
- THA 51 件
西日本 2 位(全国30位)

骨折への髓内釘 ★

- インターナン
大腿骨粉碎骨折 34 本
- 関西トップ 5
(単独執刀医として2位)
- トライジエン
上腕骨骨折、大腿骨遠位及び脛骨骨折 25 本
西日本 3 位(全国3位)
(単独執刀医として2位)
- インターナン+トライジエン
関西 1 位

創外固定手術 ★

- 創外固定 ハーフピン 113 本
西日本 9 位(全国19位)
- 橈骨骨折に絞ると
西日本 4 本(全国4位)
(※件数はS社資料に基づく)

脊椎固定術(脊椎インプラント)

OLIF+open PS(前方後方同時手術)

- 令和1年5月-令和2年4月
神戸 1 位 28 件
- 令和2年5月-令和3年4月
神戸 1 位 26 件
- 令和3年5月-令和4年4月
神戸 1 位 15 件

(※件数はM社資料に基づく)

患者さんにとっても安心、地域の先生方にとっても安心、「三方好し」な体制

では、地域の開業医の先生方や地域住民の皆さんに、当院がどのような医療を提供できるかを考えたとき、それはやはり「安心の医療」を提供したいというのが一番の思いです。患者さんにとっても安心、地域の先生方にとっても安心、「三方好し」な体制をつくっていくことが、当院の使命であると考えています。

例えば、骨折の患者さんが開業医の先生を受診されたら、状況により当院に搬送していただく、そして当院での治療が落ち着いたところで開業医の先生にお戻します。

患者さんにとっても、治療後は「いつもの先生」の方が安心して通院できます。当院はどのような症例であれ、診察します。その内容によっては大学病院や三次救急に搬送することもありますが、可能ならば当院で対応する、そういう流れが望ましいと考えています。

特に高齢の患者さんは、入院や手術そのものはもちろん、その後の生活に不安を抱くことが多いでしょう。手術・入院前からの通い慣れた先生方のところに通院していただき、

継続的な治療や経過観察をお願いする一方で、当院では「ワンストップで対応できる一貫した治療体制」を整え、患者さんの入院・手術の「その後」がより安心したものになるよう支援しています。要経過観察、在宅復帰に不安がある、リハビリの必要性など、患者さんの状態に応じて当院の地域包括ケア病棟を活用することも、選択肢の一つとしてご提案します。

患者さんの真のニーズに応える 医療を提供するために

当院の整形外科を知るために、地域での講演や、医師会主催のWebでの勉強会（症例検討）を行っています。今後もそのような機会を生かし、地域の先生方とさまざまな情報や知識の共有などを図りたいと思っています。

先生方と当院の関係や連携をより強くすることで、より多くの患者さんのニーズに応えることにつながるのではないかと考えています。

講演会・勉強会などの活動



対応疾患・治療

脊椎外科

日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医が、患者さん一人ひとりに合ったオーダーメイドの治療を行っています。脊柱再建術や側弯矯正手術などの難易度の高い手術も行えることが強みです。

関節外科

腱板断裂に対する腱板縫合術、反復性脱臼に対する制動術など、関節鏡を用いた手術も行っています。また、変形性膝関節症に対し、人工膝関節置換術、高位脛骨骨切り術などを行っています。

骨粗鬆症の治療

骨粗鬆症の薬物治療として、主にプラリア（デノスマブ）を導入しています。時にフルテオも行っています。

四肢外傷の治療

（腕や脚の骨折・脱臼・捻挫などケガの治療）

イリザロフ創外固定器を常備しています。創外固定によるダメージコントロールを柔軟に行ってています。

スポーツ整形外科

（スポーツによるけがや故障の治療）

スポーツ認定医の朝田医師による外来診療を行ってます。

整形外科（常勤医）



院長

朝田 尚宏

Naohiro Asada

<資格>

- ・日本整形外科学会認定 整形外科専門医
- ・日本整形外科学会認定 脊椎脊髄病医
- ・日本整形外科学会認定スポーツ医
- ・日本リウマチ学会リウマチ専門医
- ・日本整形外科学会認定リウマチ医
- ・リバースショルダー認定医
- ・OLIF認定医

<経歴>

- 平成 3 年 金沢大学医学部医学科 卒業
平成 12 年 金沢大学大学院医学研究科 卒業
平成 4 年 市立敦賀病院整形外科
平成 5 年 国立中山病院整形外科
平成 6 年 アメリカペンシルベニア大学 フィラデルフィア小児病院
平成 12 年 町立富来病院整形外科 医長
平成 20 年 市立敦賀病院整形外科 部長
平成 27 年 行徳総合病院整形外科 部長
平成 28 年 行徳総合病院 副院長
平成 31 年 神戸百年記念病院 院長



<左記の認定資格証を掲示した診察室>



裏辻 雅章

Masaaki Uratsuji

<資格>

- ・日本整形外科学会認定 整形外科専門医
- ・日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医
- ・日本リウマチ学会リウマチ専門医
- ・日本リハビリテーション学会 認定臨床医
- ・日本医師会認定産業医

<経歴>

- 昭和 53 年 3 月 金沢大学医学部 卒業
昭和 53 年 4 月 神戸大学大学院医学研究科 入学
昭和 57 年 3 月 神戸大学大学院医学研究科 卒業
昭和 57 年 4 月 兵庫県立淡路病院整形外科
昭和 61 年 1 月 米国クリープランドクリニック留学
昭和 63 年 1 月 神戸大学医学部付属病院整形外科 助手
平成元年 1 月 神戸労災病院整形外科 副部長
平成 4 年 7 月 神戸労災病院整形外科 部長 兼
リハビリテーション部 部長
平成 9 年 9 月 三菱病院 副院長
平成 23 年 7 月 川崎病院整形外科
令和元年 10 月 神戸百年記念病院

外来担当医表

※時間内の救急車は可能な限り受け入れています。

診療時間	月	火	水	木	金	土
8:45～午前中 診療終了まで	予約制 朝田 尚宏	裏辻 雅章 第2・4週	朝田 尚宏	予約制 裏辻 雅章	朝田 尚宏	担当医 裏辻 雅章 第1・3・5週
	裏辻 雅章	担当医		裏辻 雅章	担当医	